

多彩なプロジェクトによって「京大力」を未来へ 支援者の皆様の期待に応えつつ、基金の有効活用と拡充を図る

京都大学基金へのご支援と今後

京都大学では、支援者の皆様からの寄附金を本学の未来のために運用し、その運用益を拡充することを目指して2007年に「京都大学基金」を設立しました。現在、京都大学基金は、本学全体の教育研究・社会貢献のために活用する基金と、世界中から期待されているiPS細胞研究のさらなる発展のための「iPS細胞研究基金」や、若手研究者の後押しをする「本庶佑有志基金」、経済的困難を抱える学生を支援する修学支援基金など、特定のプロジェクトを支援するための基金(特定基金)から構成されています。

同基金は設置以来、数多くの方よりご支援をいただいております。2021年度末現在、基金(特定基金含む)の受入残高は約526億円に達しています。この活用実績については「京都大学基金」のウェブサイトにおいて広く公開しています。また、クラウドファンディングなども活用し、医学部附属病院の新型コロナウイルス感染症対策(→13ページ)などを支援しました。

今後は、運用益の拡充に努めながら、産業界と学術界が相互に連携・協力し、多角的な課題の解決に挑戦する人材育成基金や、地球社会の調和ある共存に貢献するためのSDGs課題解決基金など、本学の卓越した知を活用した多様なプロジェクトを展開していきます。



京都大学基金のウェブサイト
www.kikin.kyoto-u.ac.jp/



CFプロジェクト 一意欲ある学生を力強くバックアップ www.kyoto-u.ac.jp/ja/news/2021-05-28-0



向学心に富み強い創造心や研究意欲をもつ学生が、経済的理由などでその志を途中で諦めずすむよう、人材育成を目的とした基金「Create the Future (CF) プロジェクト」を設置し、2022年4月より返済不要な奨学金の支給を開始しました。同プロジェクトは建築家・安藤忠雄氏など個人の皆様や、株式会社ニトリホールディングスなどの企業からのご支援によって実現したもので、初年度は183名へ支援を行いました。今後、10年間で約1,200名の多様な分野への挑戦を後押しし、優秀な次世代研究者を育成していきます。

遺贈寄附に関するセミナーの実施

遺贈寄附とは、相続財産の一部を寄附に充てるもので、「人生最後の社会貢献」として近年注目を集めています。京都大学では、2017年よりセミナーの開催をスタートし、2022年度は東京と京都の2都市の会場(オンラインによる参加も含む)において、それぞれ100名を超える皆様に参加いただきました。会場では、専門家を講師に迎えた相続などの個別相談会も実施するなど、関心のある皆様にお役に立てる内容としました。今後も継続し、広く情報を提供していきます。



同窓会との積極的な連携

本学では、学部・研究科同窓会や地域同窓会、海外同窓会、横断型同窓会など、各種同窓会組織との連携強化に取り組んでいます。従来より継続している同窓会の開催支援やホームカミングデイの開催などの活動のほか、近年では同窓生向けオンラインサービス「KUON(クオン)」のコンテンツの充実に努めています。

本学出身の輝く女性による「京都大学ここのえ会」を結成

2021年11月、本学を卒業し社会で活躍する、または活躍したいと願う女性たちによって「京都大学ここのえ会」が設立しました。学歌の歌詞を冠した「ここのえ会」は、今後、学部や研究科の枠を越えた本学出身の女性のネットワークを構築するとともに、様々な形で本学的女子学生や女性研究者などへ緩やかな支援を行っていきます。



富山県京都大学同窓会と連携し「京大の知in富山」を開催

本学の最先端の研究成果を社会に発信する講演会「京大の知」を、地域同窓会の開催と同時に進めています。

2022年8月には「富山県京都大学同窓会」の協力のもとで「京大の知in富山」を開催し、湊総長が「大学の使命と科学する心」と題して130名を超える一般の方々に講演を行いました。その後は同窓会との懇親会が行われ、各々の近況の報告、学生時代の思い出話で盛り上がるなど、地域および同窓生との懇親を深める機会となりました。

